

2020年11月12日

各位

H2株式会社

【HbA1cの将来数値をAIを用いて予測】 約12万人が利用している健康管理アプリ・シンクヘルス ～糖尿病科医師によるアドバイスの下、実証実験をスタート～

H2株式会社（本社：東京都台東区、社長：エド・デン）は、血糖コントロールの指標となるHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の数値について、AIを用いて予測する機能を医療現場で活用いただくため、糖尿病科医師によるアドバイスの下、世界糖尿病デーである11/14(土)より実証実験を開始しますのでお知らせします。

【アプリの画面例】



HbA1cの記録を基にAIチャットによる予測値のアドバイス アプリでは記録した数値がグラフ化されわかりやすい

【本件のポイント】

- 1、HbA1cの予測を患者が確認することで、予測値より良い結果を出すよう動機付けになる
- 2、医療従事者も患者が治療に前向きになることで、治療の成果を出しやすくなる可能性
- 3、本社のある台湾では血糖自己測定の回数の改善が見られたので、その検証を日本で行う

【今後の展開】

複数の医療機関でHbA1cのAI予測を実際に使っていただき、台湾と同様の成果が日本でも出るのかを確認し、有効性のデータが固まった段階で全国の医療機関に紹介をしていく予定です。その結果、糖尿病患者の血糖コントロールの一助につながり、合併症予防などに役立てればと考えます。

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

H2株式会社 広報担当：宮田 亘造 TEL:03-6284-2292 Mail:kmiyata@health2sync.com

シンクヘルスアプリについて

当社が提供する「シンクヘルス」は、血糖値、血圧、運動、食事など日常生活の計測データを入力し、履歴や動向を確認したり、自己分析ができるアプリです。HbA1cの予測以外でもAIを用い記録されたデータに基づいて、利用者へ定期的にメッセージを配信する仕組みとなっており、利用者が健康管理を継続するモチベーションにつながっています。

HbA1cのAI予測の仕組み

- ・ HbA1cを5回入力することで、翌月のHbA1cの予測値がチャットで送られてくる
- ・ 血糖値、以前のHbA1c、糖尿病のタイプと期間、薬物療法、年齢により、予測値を提示

アドバイザー医師

銀座有楽町内科 院長 山村聡

九州大学医学部を卒業後、昭和大学病院など複数の病院にて主に糖尿病の診療に従事した後、銀座有楽町内科を開業。同時に、上場を目指す複数の医療系IT企業で役員や顧問に就任。



山村聡 医師

山村院長のコメント

『HbA1cが予測されるのは、治療に取り組む患者さんにとってわかりやすい道標が示されることになり、治療継続へのモチベーションになるはず。ぜひとも今後の普及に期待したい。』

台湾におけるHbA1c予測に関するデータ(台湾本社による患者向けアンケートより)

- ・ 血糖自己測定の実行回数については、AI予測の結果を送る前と比較すると頻度が上昇
- ・ HbA1cの予測精度は【許容できる】、または【とても正確】と回答した方が約85%
- ・ 血糖コントロール状況、現状の自己血糖管理に問題ないかの把握で活用できるとの声が多数

患者自身による血糖測定回数の変化

HbA1cの予測	血糖自己測定(回数/30日)
使用前	3.88
使用后	6.22

※106名のモニター結果より抽出

HbA1cの予測は正確だと思いますか？

回答内容	回答数	パーセント
許容できるレベル	601	64.8%
とても正確	193	20.8%
何も言えない	93	10.0%
それほど正確ではない	36	3.9%
非常に不正確	5	0.5%

※1,072名のうち928名が回答

HbA1cの予測はどのような形で役立てるとお考えですか？

回答内容	回答数	パーセント
血糖コントロールの状況を把握する	610	43.8%
自身による血糖管理に問題がないかを教えてくれる	438	31.4%
血液検査の前に血糖管理の調整が必要かどうかの指針にする	214	15.4%
血液検査の前にHbA1cの値が想定でき、現状を把握できる	132	9.5%

※1,072名が複数回答

H2株式会社の会社概要

住所：〒110-0005 東京都台東区上野3-2-2 アイオス秋葉原606

URL：<https://www.health2sync.com/ja>

サービス紹介

2013年6月に台湾で創業し、日本法人として2018年2月に設立されました。健康生活サポートアプリ(シンクヘルス)と、そのアプリにあるデータを診療に活用できる、クラウドサービス(シンクヘルス・プラットフォーム)を展開しています。

アプリでのデータ記録のみならず、他のアプリ利用者や医療従事者と繋がることのできる「パートナー」という機能や、健康に関するゲームや漫画、そしてレシピも用意しており、利用者の皆様が健康管理を楽しく継続できるようサポートしています。

また、プラットフォームを導入いただいた医師・薬剤師などの医療従事者は遠隔にて、利用者がアプリに入力した数値を基に、より正確かつ効率的なアドバイスが可能になっています。

さらに2019年12月より、SOMPOひまわり生命保険株式会社とともに、当社のアプリと連携した糖尿病患者向け保険を提供スタートしました。

主な取引先

SOMPOひまわり生命保険株式会社、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社など

受賞実績

米国の著名な健康メディア・ヘルスラインで糖尿病管理の部門で3年連続ベストアプリを獲得

<https://www.healthline.com/health/diabetes/top-iphone-android-apps>

主なメディア掲載歴

日経 xTECH/日経デジタルヘルス：

アプリ連携の糖尿病患者向け保険、狙うは国内300万人の巨大市場

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/18/06743/>

Yahooニュース(CNET Japan提供)

大京アステージ、地域薬局と連携したAI搭載型健康管理アプリを試験導入

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f3294cba21a75db4742a355bd5ca70c53820328e>

シンクヘルスアプリの画面（以下のQRコードよりダウンロード可能）

